

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 2 1 回さがみはら森林ビジョン審議会				
事務局 (担当課)		環境経済局経済部津久井地域経済課 電話 0 4 2 - 7 8 0 - 1 4 0 1 (直通)				
開催日時		令和 2 年 2 月 4 日 (火) 午後 3 時 ~ 4 時 4 5 分				
開催場所		緑区合同庁舎 3 階 会議室 3 - 1 A , B				
出席者	委員	6 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	6 人 (経済部長、津久井地域経済課長、津久井地域経済課 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議事 ( 1 ) 平成 3 0 年さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について 4 その他 5 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開会

事務局（津久井地域経済課）から開会宣言が行われ、会議の成立について報告するとともに、議事録の公開について説明し、了承を得た。

### 2 あいさつ

事務局の進行により、経済部長からあいさつを行った。

### 3 議事

審議に先立ち、会長から事務局に傍聴希望者の有無が確認され、傍聴希望者がいたため、委員の承認を得た後、入室した。

#### ( 1 ) 平成 3 0 年さがみはら森林ビジョン実施計画事業の進行管理について

資料 1 から資料 3 の森林ビジョン実施計画の進行管理シートについて、順次、審議会からの評価・意見とそれに対する事業所管課の対応について確認を行った。

また、事務局から資料 4 により、今年度の進行管理シートの公表の方法について提案し、了承された。

#### 【「重点事項：その 1 」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

##### 事業コード 3-1-1 「( 仮称 ) 相模原市市民の森」整備事業

( 仮称 ) 相模原市市民の森の計画地である石老山は昨年の台風の影響を大きく受けており、復旧工事が行われている。観光資源でもあるため、県と連携し景観に配慮した復旧を進めてもらいたい。連携は図られているのか。

県と市で役割分担を行い、連携して復旧を実施している。県の管理である東海自然歩道以外の部分で景観に配慮した復旧を行うことも考えられる。

##### 事業コード 3-3-1 企業の森の拡大

相模原市の企業の森の木を使い製品を作ることができるとよい。現在の相模原市型の企業の森についての検討状況は。

一般的な企業の森は、企業からの寄付により森林を整備し登山道に企業名の記載された看板を設置するというものである。相模原市型の企業の森についてはネーミングライツ型を基本とするが、森林の活用についても可能性はあると考える。

##### 事業コード 5-1-1 水源の森林づくり事業

林地台帳システムとは。

森林の土地所有者情報と森林簿が紐づけられたもので、森林経営計画を立てる際、所有者を調べるために使用している。

森林組合で使用している GIS は、権利の移譲や小字の情報等が反映されていないが、林地台帳システムではどうか。

森林所有者については登記簿情報を、森林については森林簿を基にデータを作成している。登記簿が更新されたとしても、データの更新作業は職員の手作業となるため現状は実施していない。

#### 事業コード 5-1-1 地域水源林整備事業

私有林整備が課題である。地域水源林エリア内の財産区有林において整備を進めるように調整を図っている。

地域水源林内の私有林整備は、補助メニューが少なく整備が進まない状況がある。今後も引き続き適切な整備を進めていく。

#### 【「重点事項：その2」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

#### 事業コード 4-1-1 津久井産材利用拡大協議会の設置・運営支援

今後、協議会については津久井郡森林組合の組合長が会長職を、津久井地域経済課が事務局を担うとし、体制強化を図っていく。

低質材の利用が課題となっている。県森林組合連合会のチップパーを津久井貯木場内で使い、市内における小規模なバイオマス利用をできないかと考えている。

現協議会の前身の木質バイオマス利活用に関する協議会では、木質バイオマスを利用した施設の視察を実施したが、良い面、悪い面があり相模原市内での活用は難しいとの結論に至っている。

木質バイオマスの利活用については、実現可能性を考慮しつつ検討を行いたい。

#### 事業コード 4-1-3 地産地消の促進

広葉樹の需要があるが、搬出のタイミングが合わないと取引が難しい。需要と供給がつながる仕組みがあるとよい。

現状の広葉樹の需要の把握方法は。

製材事業者や地元からの情報による。

地域内で情報を流す仕組みがあればよい。

津久井産材利用拡大協議会構成員でメーリングリストを活用し情報を共有するなどが考えられる。

【「重点事項以外の取組」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

事業コード3-2-2 地域と人をつなぐルートづくり

「登山道を活用した」という表現だと内容が分かりにくいいため、「林道等を活用した」に修正してもらいたい。

修正する。

#### 4 その他

事務局から「さがみはら森林ビジョン後期実施計画(案)」のパブリックコメント結果の報告及び森林環境譲与税の増額に関する説明が行われた。

#### 5 閉会

さがみはら森林ビジョン審議会 出欠席名簿

( 5 0 音順 )

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	北村 美仁	一般社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
2	齊藤 理沙	公募委員		出席
3	佐藤 治男	津久井郡森林組合 代表理事組合長	副会長	出席
4	杉本 貴広	有限会社 杉本林業 取締役		出席
5	土屋 俊幸	東京農工大学 大学院 農学研究院 教授	会 長	出席
6	淵上 美紀子	一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 代表理事		出席